

中央区

盲導犬普及 歌って支援

20回目のチャリティーフェス

31団体出演、童謡など披露

歌を通じて盲導犬の普及を支援する「盲導犬チャリティーコーラスフェスティバル」

「イバル」(神戸新聞社など後援)が20日、中央区楠町4の神戸文化ホールであった。



日頃の練習の成果を披露した「盲導犬チャリティーコーラスフェスティバル」=神戸文化ホール

NPO法人国際音楽協会(中央区)が主催し、20回目。兵庫盲導犬協会によると、2017年3月末の時点で盲導犬は全国に約950匹おり、うち兵庫県には42匹。だが現在、盲導犬を必要としている人は約3千人いるという。フェスティバルの参加費の一部や会場で募った寄付金は、盲導犬1匹に約500万円かかる育成費用に充てられる。

この日は、県内を中心とする合唱グループなど31団体が出演し、童謡や唱歌、中国歌曲などを披露。豊かな歌声を会場に響かせた。後半には盲導犬「オアシス」も登場。訓練や仕事の一部を紹介した。

明石工業高等専門学校「フォンス・ムシケ」の3年桐森元規部長(18)は「1年の集大成として参加した。みんな一つの目標に向かって歌えた」と話した。

入賞は次の通り。

(坂山真里緒)

- 県知事賞 女声合唱団 アールバエコー▽神戸市長賞 男声合唱団「風」▽県教育委員会賞 明石高専 Fons Musicae▽神戸市教育委員会賞 コール・アマビレ▽県芸術文化協会賞 西はりま混声合唱団▽神戸市民文化振興財団賞 ローズマリー・コア▽神戸新聞社賞 西神戸混声合唱団▽サンテレビ賞 合唱団ユーカリプタス▽神戸須磨ライオンズクラブ賞 コール はなみずき▽国際音楽協会賞 女声合唱団 どれ・Sing